

2025年度

大学院文学研究科博士課程前期2年の課程入学試験

( 冬期・社会人特別選抜 ) 問題

筆記試験 文化人類学 専攻分野

試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけない。

受験記号番号	
--------	--

成	
績	

2025年度

大学院文学研究科博士課程前期2年の課程入学試験

(冬期・社会人選抜) 問題

専門科目 ( 文化人類学 専攻分野)

解答はすべて日本語で記すこと

A 以下の設問に、それぞれ1ページ以内で答えなさい。(解答欄は2頁～5頁)

問1：文化人類学でこれまで行われてきた象徴に関する研究について、代表的な研究者を2人以上挙げて、理論やそれに対する批判的検討に言及しながら、その知見について論述しなさい。

問2：文化人類学では、近代(modern)とポスト近代(postmodern)について、どのように扱い、いかなる研究成果を挙げてきたか。代表的な理論に言及しながら論述しなさい。

問3：あなたが行おうとする修士論文研究における代表的な先行研究を3つ以上挙げて、それらの研究を批判的にレビューしながら、自身の研究の新規性と意義について論述しなさい。

B 以下の用語と人名について、それぞれ3行以内で説明しなさい。

(1) Judith Butler (2) Negara (3) cross cousin

(4) Distinction (La distinction) (5) punaluan family

\* 6～7頁は下書きに使ってよい。







B

---

(1)

---

---

---

---

---

(2)

---

---

---

---

---

(3)

---

---

---

---

---

(4)

---

---

---

---

---

(5)

---

---

---

---

---



